

— 第1日 9月19日(金) 15:30~16:30 —

ITL02 実験が不可能な分野で因果関係を同定するための
研究デザインと解析法

N302

講演者 名古屋大学 星野 崇 宏
司会者 東京大学 繁 榎 算 男

要旨

発達心理学, 教育評価, 社会心理学や臨床心理学などでは多くの場合, 無作為割り当てを伴った統制実験研究を行うことは非常に難しい。代わりに行われる調査観察研究では, 見かけの関係から本来の因果関係を推論するために, 独立変数と従属変数どちらにも関連する要因である“共変量”の影響を除去する必要がある。そのために, これまでは研究デザインの工夫や, 共分散分析やパス解析などの統計解析手法の利用が行われてきた。近年ではよりロバストな結果を得るために, 研究デザインの工夫と共に, 傾向スコア解析法や多重代入法, カーネルマッチング法など, モデル仮定をなるべく置かずに関心のある量を推定するセミパラメトリック推定法が利用されるようになってきた。

そこで本講演では調査観察研究での因果効果の推定の枠組みを紹介し, 実際の解析例及び講演者の研究と共に, 近年大きく発展してきた新しい研究デザインと解析手法の可能性を示したい。